

党員拡張号外版

the sunrise party of Japan



発行所/たちあがれ日本 党本部

東京都港区赤坂1-11-28 赤坂1丁目 森ビル10F
〒107-0052 Tel.03-3582-8111 ●定価1部 50円(税込み)

党員・サポーター募集中!

www.tachiagare.jp

たちあがれ日本

検索



お問い合わせは
たちあがれ日本 浦安市第一支部
浦安市当代島 1-32-29 アイエムビル5F

浦安市議会議員選挙 柳きいちろう氏公認決定!

若い力で浦安を変える

たちあがれ日本から26歳が挑戦!!

たちあがれ日本は平成23年2月2日、浦安市議会議員選挙の候補者として、柳毅一郎氏の公認を決定した。柳毅一郎氏はたちあがれ日本浦安市第二支部長。世界の変化の荒波にうろたえ、右往左往し、変わることも前進することもできない日本。今こそ、少子高齢化、経済の停滞等を抱える地方の政治をまずは変えねばならない。サラリーマンを辞し、あたらしい浦安づくりに果敢に挑む柳毅一郎氏に聞く。



今こそ浦安を変える時期

少子高齢化の進行が10年遅く、若い街と言われる浦安。そんな浦安にも今、危機が迫っています。現在、少子高齢化が進み、多くの地方自治体が財政問題で四苦八苦しています。そんな若い都市である浦安市も数年後には例外ではないと見られます。幕末の偉人、坂本竜馬は、「財政の独立なくては、思想の独立もなく、行動の自由もない」と言いました。私は銀行員時代の経験を通して、この言葉を肌身で体感しました。地域に根差した教育や福祉サービスを実現し、それを将来にわたって維持していくためには、今こそ浦安市政を変えねばなりません。

世代を超えた連帯感のために

国の借金は莫大になり、900兆円にもなります。国会議員は、予算を組むために増税(消費税)を国民に求める。「不・利益分配時代」になっております。私は浦安市には将来そのような状態になり、市町村税増税(市民税、固定資産税、軽自動車税)を求めるようになっ

統一地方選に向けて挙党態勢を構築

ウラ面

てほしくなく、むしろ減税のできる魅力的な都市になってほしいと思います。増税を求める際には、必ず政治の混乱が起きます。それは、今日の国政が証明しております。浦安市では絶対にそんなことはしたくない。

浦安減税構想

ではどうすれば良いか。私はこれを「浦安減税構想」と題しますが、毎年、予算の一部積立を行い減税目的の基金を設立し、税収の増減に左右されない、強固な財政を築き、大災害などの緊急時の備えを行うとともに、将来、積立金の利子収入を活用し、市民税の減税を行える地域社会を築くことです。

減税基金には「財政規律の確保」「世代を超えた政策決定の実現」など、自治体の財政運営上多くの意義があります。加えて、現役世代が毎年一定額を積み立てて将来世代に正の遺産を残すことによる「世代を超えた浦安市民の連帯感」がつけられます。また確実に来る将来浦安市の高齢化に対する原資にもなります。

現役世代が多い浦安市まだ間に合います。「あのときにこうしていたら」とならないために、今、変える時期です。

最後に若き日本人の一人として

「自分達(特攻隊員の志)が礎となって、日本は立派になるのです。自分たちの死は、決して無駄ではありません。これは敗戦濃厚な太平洋戦争末期、国、また愛する人々を守るために、特別攻撃隊員として出撃して、その尊い命を散らしていった多くの若者達の声です。現在の私の年と同じか、それ以下の人たちは

私はこの身を賭した声に答えねばならないと思います。純粋に国を愛し、素直な気持で国に殉じ、生き残る全ての日本人に対して国家再建を託して散っていった若者達の望みを裏切るわけにはいきません。まだ若者ではございますが、彼らに恥じぬような政治を行う所存です。よろしくお願ひ申し上げます。

柳きいちろう氏のプロフィール



- ▶ 昭和59年3月25日
東京都文京区に生まれる
サラリーマン家庭で生まれる。
(両親、親戚ともに政治家はいない)
- ▶ 平成14年3月
明治学院高校卒業
- ▶ 平成20年3月
早稲田大学商学部卒業
早稲田大学雄弁会にて活動。
全国弁論大会で優勝1回、
準優勝2回を果たす。
- ▶ 平成20年4月
株式会社商工組合中央金庫入庫
中小企業への融資業務を担当。
銀行の扱っている商品「お金」を通じて、
その大切さや厳しさを学ぶ。
- ▶ 平成23年2月
たちあがれ日本 浦安市第一支部支部長
浦安市北栄に在住